

小児科専門研修プログラム

◆ プログラムについて

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院は、小児科専門研修プログラムの基幹病院です。小児科専門医を育成してきた実績も豊富であり、本プログラムを専攻すれば小児科専門医を間違いなく取得できるでしょう。

専攻医は「小児医療の水準向上・進歩発展を図り、小児の健康増進および福祉の充実に寄与する優れた小児科専門医を育成する」ことを目的として、「小児科医は子どもの総合医である」という基本的姿勢に基づいて3年間の研修を行います。「子どもの総合診療医」「育児・健康支援者」「子どもの代弁者」「学識・研究者」「医療のプロフェッショナル」の5つの資質を備えた小児科専門医を育てます。

※プログラム内容の詳細は、当院ホームページよりご覧下さい。

◆ 専攻医の処遇

- ・身分：専攻医（常勤嘱託）
- ・給与：3年次 基本給 290,300円＋諸手当(地域手当、医師確保調整手当等)
4年次 基本給 305,800円＋諸手当(地域手当、医師確保調整手当等)
5年次 基本給 320,100円＋諸手当(地域手当、医師確保調整手当等)

・他施設で研修する場合の雇用条件は、それぞれの研修施設の給与、社会保障、労働条件による。退職金等は、退職時の施設基準に従う。雇用にかかわる住宅、交通などの条件は、当該研修施設の基準に従う。

◆ 研修コース例

基幹研修施設 6か月以上
日本赤十字社愛知医療センター
名古屋第一病院

または

基幹研修施設 6か月以上
日本赤十字社愛知医療センター
名古屋第一病院

＋ 下記の連携研修施設
いずれか

あいち小児保健総合医療センター
3か月

日本赤十字社愛知医療センター
名古屋第二病院 3か月以上

名古屋大学病院
6か月

＋ 下記の連携研修施設
いずれか

連携研修施設 3か月以上
名古屋医療センター
名古屋掖済会病院
名鉄病院

3年間に小児一般（循環器・神経・内分泌・腎臓・アレルギー等）/小児血液腫瘍/新生児をローテート研修します。

小児一般では、肺炎・細気管支炎・インフルエンザ等の感染症、腸重積・虫垂炎等の消化器疾患、糖尿病・低身長症等の内分泌代謝疾患、熱性けいれん・脳炎脳症等の神経疾患、川崎病・先天性疾患等の循環器疾患、気管支喘息・アナフィラキシー等のアレルギー疾患、尿路感染症・ネフローゼ症候群等の腎尿路疾患、ほかにアレルギー性紫斑病や虐待等を診療します。心臓超音波検査・心臓カテーテル検査・脳波・筋電図・CT/MRI・内分泌負荷試験・腎尿路/消化管造影検査等の手技や評価を経験します。

小児血液腫瘍では、急性リンパ性白血病・急性骨髄性白血病・悪性リンパ腫等の血液悪性疾患、再生不良性貧血・特発性血小板減少性紫斑病・血友病等の非腫瘍性血液免疫疾患、脳腫瘍・神経芽腫・肝芽腫等の固形腫瘍疾患、副腎白質ジストロフィー・ムコ多糖症等の造血細胞移植の適応となる先天性代謝異常疾患を診療します。骨髄穿刺・腰椎穿刺等の手技、化学療法や造血細胞移植を経験します。

新生児では、低出生体重児・呼吸障害・新生児仮死・黄疸等の新生児疾患、染色体異常等の先天異常疾患を診療します。超音波検査・気管挿管・末梢穿刺中心静脈カテーテル留置等の手技、人工換気療法や非侵襲性陽圧換気療法を経験します。

3年間を通じて外来診療に従事して、プライマリーケア・予防接種・乳児健診を経験します。小児科当直業務を行い、主に小児救急疾患への対応を学びます。小児外科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、眼科、整形外科等と連携して、小児の外科的疾患に対応します。多様な小児疾患を経験するため、自由選択コースを設けて連携施設と相互に研修機会を補完しています。

◆ 小児科プログラム採用実績（令和2年度：4名、令和3年度5名）

お問合せ先

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 教育研修管理課
TEL：052-481-5111 E-mail：kensyu-jimukyoku@nagoya-1st.jrc.or.jp